



新年快乐, 万事如意!



あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は勢いを緩めていません。世界各地からワクチン開発のニュースが届きますが、期待の声の一方で不安や懸念も広がっています。日本政府は無策であるどころか、Go to キャンペーンで国民をあおり、感染拡大を後押ししてきました。

こんな状況で「新年」の「快樂」を享受できるのか、コロナに打ち勝てず「万事不如意」ではないのか、とってまいますが、コロナ禍で人々の連帯の大切さも共有されてきています。

日本と中国、東アジアの平和と連帯を求めて、私達も智慧と力を尽くして、日中友好活動を継承・発展させてまいりたいと思います。

また、新年から本部の「日中友好新聞」が月2回（1日・15日）の発行となります。この機会に、引き続きご愛読と、読者・会員の拡大へのご協力をお願い申し上げます。

湘南支部役員一同

「鬼が来た！」を上映

湘南支部主催による中国映画「鬼が来た！」の上映会が、折しも日中戦争時の「南京陥落」から83年目の12月13日の午後、藤沢市内で開催されました。

映画は「芙蓉鎮」主演の姜文（チアン・ウェン）が制作、脚本、監督、主演を務め、日本から香川照之が主要な配役で出演しています。カンヌ映画祭で審査員特別グランプリを獲得した140分の大作です。

窓を開けて暖房を入れた室内で、距離を空けて着座した協会内外からの参加者13人が見つめる画面は、ラストシーン以外はモノクロで、シチュエーションもカメラワークにも黒澤明監督の「七人の侍」を感じさせるとの感想も聞かれました。前半は日本軍の占領下の村でのできごとをシリアスかつユーモラスに描いていて楽しめましたが、後半は日本軍の描き方にリアリティーが大きく欠けていて、ストーリーに共感しにくいと感じました。

題名の「鬼」（中国語の「鬼子」）は日本軍・日本軍人を指しますが、結論として厭戦、反軍の気分が支配するので、「日中不再戦」を掲げる私たちには適していると思います。ただ、ストーリー展開がやや難解で、字幕が出ない日本語の会話の聞き取りにくさと合わせて、観賞後の消化不良は否めなかったようです。

上映後の役員会では映画の内容についての感想百出のほか、恒例の映画解説を準備できなかったことや資料不足、上映時間の長さなどの反省点を確認しました。2020年最後の行事でしたが、世相にふさわしく（?）、少々重苦しい幕切れではありました。

大会分担金について

日本中国友好協会では毎年の全国大会の開催に関わる費用を会員が支える「大会分担金」の制度があり、会員の皆さんには毎年500円をご協力いただいております。

2020年についても、会費のご請求にあわせて大会分担金500円をお支払いいただいておりますが、コロナ禍で全国大会がオンライン形式の開催となったため、当該の500円をお支払済みの方につきましてはご返金する必要が生じており、湘南支部では、2021年の会費の最初のご請求の際に、500円を減額してご請求することといたします。

また、2021年の大会分担金につきましては、全国大会がオンラインでなく開催され、協会本部が徴収の必要を認めた場合に、会員の皆様に改めてご請求し、お支払いをお願いすることといたします。

この件につきまして、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく集金担当者にお尋ねください。

湘南支部ホームページ

日本中国友好協会湘南支部のホームページには行事予定やこれまでの活動など多彩な記事がアップされています。ぜひご覧ください。

<http://nicchushounan.sakura.ne.jp/index.htm>

＊「日中友好協会湘南支部」でも検索できます。



□■神奈川県連主催 2019年中国ツアーで訪れた四川省成都のパンダ繁殖研究基地にて■□

2月14日に視聴会を予定

来る2月14日(聖バレンタインの日)午後、藤沢市役所会議室において、昨年9月に開催された「日本中国友好協会創立70周年記念シンポジウム～ポスト・コロナの新しい日中関係めざして」の動画視聴会を開催いたします。

詳細は後日、ご案内いたしますので、ぜひ予定に入れておいてください。

ニエアル広場がきれいに

昨年最後の聶耳(ニエアル)記念広場の清掃日だった12月7日の清掃活動には4名が参加。藤沢市の公園課によって花壇が一段と整備されてパンジーがきれいに咲き誇り、中国語による由来説明の石碑も化粧直しがされていました。

そのためか、いつもよりゴミが少なめで、トンクでたばこの吸殻を拾い集める程度でした。

中国本土からのお客さんが来ないのが寂しいものの、聶耳が溺死した海には大勢のサファアの姿が見られました。



ニエアル記念広場 清掃活動

1月4日(月) 午前10時30分～

2月1日(月) 午前10時30分～

※毎月第一月曜日に、有志が、中華人民共和国の国歌「義勇軍行進曲」の作曲者である聶耳(ニエアル)の慰霊記念碑のある広場を清掃しています。聶耳は1935年7月17日に、遊泳中、鵠沼海岸で亡くなりました。

※小田急線・鵠沼海岸駅下車・徒歩7分

※どなたでも、手ぶらで参加できます。